

令和4年夏季滋賀県連合子牛共進会・せり市

令和4年7月26日、高島総合家畜市場で令和4年夏季滋賀県連合子牛共進会・せり市が開催されました。出品頭数は、雌14頭、去勢20頭の合計34頭でした。



共進会審査

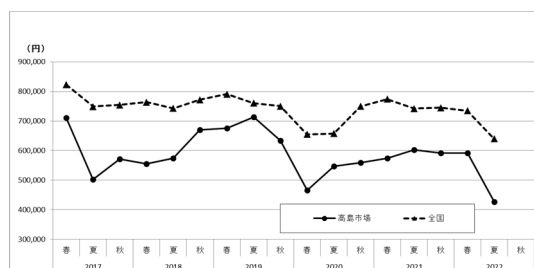
午前中に開催された共進会において、最優秀賞に甲賀市の岡崎充志さん出品「天元(てんげん)」が選ばれました。本牛は277日齢・体重282kg・体高117.2cm・胸囲159.0cmと大変発育良好で、体躯の幅・伸びとも充実しており、資質も大変優れた素晴らしい子牛でした。また、「天元」は、「おうみ」和牛繁殖協議会長賞にも選ばれました。



最優秀賞表彰

午後からは表彰式の後、せりが行われました。雌は最高592,000円・最低120,000円・平均価格332,615円、去勢は最高669,000円・最低156,000円・平均492,000円でした。

前回の市場(令和4年3月8日開催)と比較すると、雌および去勢の平均価格は、雌で約20万円、去勢で約13万円低くなっています。また令和3年夏季の市場と比較すると、雌で約26万円、去勢で約11万円低くなっています。



高島総合家畜市場子牛価格の推移

ウクライナ情勢などによる飼料価格等の高騰、円安による物価高騰、新型コロナウイルス感染症に伴う家庭や飲食店での牛肉需要の落ち込みなどが影響し、和牛子牛価格は全国的に5月以降下落続きで、当市場でも前述のとおり、春季市場に比べて大幅な下落となりました。

今後も先行きが不透明な状況が続くと予想されますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は落ち着きつつあり、「全国旅行割」や、水際対策の緩和が10月から開始されたことから、観光需要の増加など経済状況が好転し、子牛価格の低迷にも歯止めがかかることが期待されます。(藤井)